

令和8年度 都立白鷗高等学校・附属中学校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」の指導の充実 「話すこと・聞くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 授業内において、「書くこと」「話すこと」を関連させ、読み手・聞き手に伝わる書き方、話し方の指導 基礎となる言語能力向上のため、漢字検定等への継続的な取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 大学等主催の小論文コンテストやスピーチコンテストへの応募 オンライン活用時の「話し合うこと」についての指導方法の開発
地歴公民	探究学習を通じて「学びに向かう力」と「学びを深める力」を育てる	写真・図表・統計・歴史的資料・法令といった様々な資料をもとにペアワークやグループワークといった対話的・協働的な活動を通じた課題解決学習を行う。自らの考えをまとめたり他者の考えを参考にしたりしながら社会的なものの見方や考え方を身につけ深める。中学段階では楽しみながら社会的な題材への興味や関心を高め、高校段階では各科目の理解を横断的に結び付けてより深い探究へとつなげる。	一人一台端末を用いてMicrosoft TeamsをはじめとするICTプラットフォーム上で学習課題の提出や学習資料の共有などを行い、授業・自宅学習・課題提出・学習評価・振り返りなどを円滑に結び付けながら学習を進める。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 数学的思考力・汎用力向上を目指す数学的活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 事象を論理的に考察することで、新たな課題を発見し、解決できるようになる授業の実施・数学の良さを感じることができ教材の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 事象を多角的・論理的に考察し、他者と共有することで、新たな課題を発見し、解決できるようになる授業の実施・既習の事象を様々な場面で活用できる汎用性を育む教材の開発
理科	東京サイエンスハイスクール指定校として生徒の知的好奇心や学習意欲を引き出す指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の知的好奇心や学習意欲を喚起する講演会やワークショップなどを企画し、積極的な参加を促す。 各種コンテストやイベントに参加を希望する生徒をチームとしてまとめ、Microsoft Teamsを活用した協働的な活動を通じて、理数分野における学びを深化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種コンテストについて、より意欲旺盛な生徒を対象に全国大会等上位大会出場に向けた指導を行う。 高校2年生で執筆する探究論文や大学入試に向け、高い水準の指導が必要な生徒について大学や研究機関との連携を模索するなどの支援を行う。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツへ向けた多角的な資質・能力の育成 運動量の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が「学習目標・練習計画・ルール等の設定」を立案・実施し、生涯スポーツに向けた主体的な活動に取り組む。 限られたスペースや時間を有効活用し、体力向上を目的としたトレーニングや体づくり運動、ニュースポーツ（アルティメット、スポレック等）を取り入れ、多様な運動機会を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、生徒が動画をもとに自己分析し、仲間とフィードバックをし合いながら、自己の課題に応じた運動を修正・提案する能力を高める。主体的な運動改善を通じて、運動量と運動効果を高める。
芸術	「創造的な表現の工夫」に向けた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な教科会にて指導事項について確認、情報共有 単元ごとに互いの作品や演奏について意見交流するためのペアワークやグループワークの設定 芸術3教科の横断授業で、他分野の芸術のつながりを深める 	<ul style="list-style-type: none"> 作品を披露する展示会、演奏を披露する発表会の開催 優秀作品を校内に展示し、外部の美術展に出品する。 音美書合同発表会の開催
英語	「発信力（話すこと（やりとり））」に重点を置いた指導のさらなる充実	<ul style="list-style-type: none"> 白鷗Can-Doリストに則り、4技能をバランスよく配置した授業を各学年で展開する。 研究発表に向け、発信力（話すこと（やりとり））の指導に重点を置き、振り返りや改善を繰り返す、その向上を図る。 定期的に教科会を開催し、発信力に関する各学年の取り組みを報告、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> HAPIE 5、6において、WritingおよびSpeakingに特化した授業を実施し、考えや意見をより効果的に伝える技能を身につけさせる。 3、4、6年次で、英作文添削の際にAIを活用し、書く力のさらなる育成を図る。
家庭	自立を目指した「課題解決力向上」につながる学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ホームプロジェクトの計画や実施を通じた課題型学習・テーマ学習を通じたグループによる探究的な学習・実習を通じた体験的学習 	<ul style="list-style-type: none"> ホームプロジェクトコンクールへの応募・地域福祉施設との交流・視聴覚教材を活用したテーマ学習
情報	知識・情報を組み合わせ、問題解決を図る課題の充実	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて取り組む問題解決に関するレポート課題の実施 学んだことを、1つのスライドとしてまとめる課題の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実データをを用いたデータの分析および、分析結果をまとめる課題の実施 確率推移を含むような複雑な事象に対するシミュレーションを行う課題の実施